

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施 設 名	豊橋市神田ふれあいセンター
所 在 地	北設楽郡設楽町神田字杉ノ根19番地
指 定 管 理 者	豊橋市神田ふれあいセンター管理委員会
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和10年3月31日
担 当 課	豊橋市教育委員会教育部生涯学習課(0532-51-2846)
令和6年度指定管理料 (決算)	2,640千円
令和7年度指定管理料 (決算見込)	2,640千円

項 目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書等に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	「いも煮会体験」及び「そば打ち体験」など事業計画書のとおり実施されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	人員配置・労働環境とも適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	実施していない。（事業計画等に規定していない。）				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書の規定に基づき、適正に個人情報が管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急時対応マニュアルが作成され、避難訓練も実施されており、十分な取り組みがなされている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	必要に応じて豊橋市の助言を求めるなど、公平性の確保に努めている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	308日	306日	307日	1日
			利用者数				
			a. 利用者数	1,899人	1,876人	1,400人	▲ 476人
			b. 事業参加者数	107人	106人	95人	▲ 11人
			【要因分析】 リピーターの利用が多く、施設の維持管理、交流事業を継続的に実施することで利用者数の維持を図っているが、令和7年度は例年数百人単位で利用する団体の利用がなかったため減少した。				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	地元の人材・文化・特産を活かした交流事業の企画、地元の方を講師に、木工体験やシイタケ菌打ちなど地元の人材や文化、特産を活かした事業が実施されている。				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	【利用者アンケート】 ・受付方法 特に不便ではない…100%、不便である…0% ・職員の対応 大変満足、ほぼ満足…100%、やや不満、不満…0% ・施設維持管理 大変満足、ほぼ満足…93.0%、やや不満、不満…7.0% ・施設満足度 大変満足、ほぼ満足…100%、やや不満、不満…0% アンケート結果は全ての項目で満足しているという結果であり、利用者の満足度は高いものと考えられる。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容			対応	
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切・迅速に対応している。					

管理 経費等 の 収 支 状 況 等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	適正に管理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	概ね収支計算書どおりの収支状況となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	2,640千円	指定管理事業費	2,644千円
			利用料金収入	0千円		
			自主事業収入	0千円		
	その他収入		5千円			
		収支差額		1千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	地元住民で組織された管理委員会の強みを活かし、地域の自然、産業等の特性を活かした魅力ある交流事業を実施した。また、設楽町の方に豊橋市の魅力を知ってもらう交流事業も実施した。 ・設楽のいも煮会体験 令和7年11月23日(日) 参加者32名 ・そば打ち体験 令和8年3月8日(日) 参加者37名 ・豊橋体験バスツアー 令和8年1月18日(日) 参加者26名
-----------------	--

当年度の対応方針	昨年度よりアンケートの回収はできたが、回収率は引き続き悪かった。利用者からの声を多く聞くためにも、次年度も多くの利用者にアンケートの提出を促していきたい。 引き続き、利用者の立場に立った丁寧な対応や運営に努められたい。
----------	---

指定管理者の自己評価	市と締結した基本協定に基づき、適切に管理することができた。 自主事業として、地元の特性を活かした交流事業を2回実施することができ、新しい利用者に施設及び地域のことを知ってもらうことができた。 また、地元の協力を得ながら補修対応するなどの施設整備を行うことで経費削減に努めた。
------------	--

総合評価	地元住民との連携のもと、施設の貸出における丁寧な対応や老朽化した施設・設備に対する応急対応など施設の管理運営を円滑に行っていることが評価される。 地元の方との交流事業では、地域の特性を活かした魅力ある内容を企画したことで、新規利用者の獲得及び今後の施設の利用促進につなげた。 今後も、利用者の立場に立った運営や施設周辺の豊かな自然など地域の魅力を発信することにより、利用者の確保が期待できる。
------	---

次年度の対応方針	昨年度よりリピーターの利用が多かったことなどからアンケートの回収、回収率が悪かった。利用者からの声を多く聞くためにも、次年度も多くの利用者にアンケートの提出を促していきたい。 引き続き、利用者の立場に立った丁寧な対応や運営に努められたい。
----------	---